



新春の庁舎を飾って17年

～ 市役所玄関前に大門松 ～

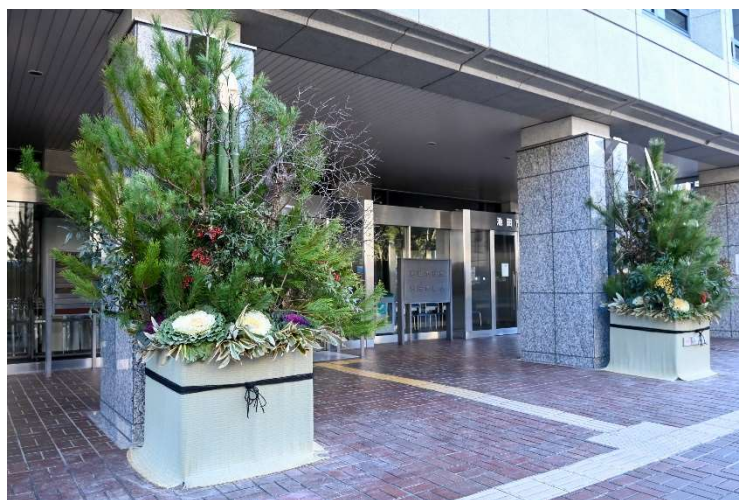
このほど池田市役所玄関前に巨大門松が設置され、来庁者や道行く人々は、足を止めて勇壮な姿を眺めていた。門松は来年1月11日（土）まで飾られる。

市北部の細河地区は日本の四大植木生産地（稲沢＝愛知県稲沢市、安行＝埼玉県川口市、久留米＝福岡県久留米市）の一つとして知られている。この大門松は、一般社団法人・池田市造園業組合（代表理事・東本幸昌＝ひがしもと・ゆきまさ＝、Tel06・6300・7927）が「植木・造園のまち池田」にふさわしい大門松を、と市役所前に飾りつけ市に寄贈したもの。今年で17年目。

同組合代表理事の東本幸昌さんは「熟練の技と細河のこだわりの素材で仕上げられた大門松を多くの人に楽しんでいただき、広く池田の植木の魅力を知ってもらいたいです。」と話していた。

大門松について

大門松は高さが約3メートル、幅と奥行きが90センチで左右一對（2体）。材料は竹をはじめ松、ナンテン、梅、ハボタン、クマザサなどで、ほとんど細河産を使っている。それらの材料で7人の組合員が約2時間かけて完成させた。土台の部分は複数の木板を組み合わせた木枠にし、竹を束ねて土を入れる。竹のまわりに松や梅、ナンテンなどをバランスよく植えていき、本体をつくる。土台の中に土を足しながらハボタン、クマザサなどを飾りつければ豪華な大門松が完成。組合員は慣れた手つきで要領よく飾りつけた。



問い合わせ 総務部総務課 Tel072・754・6220